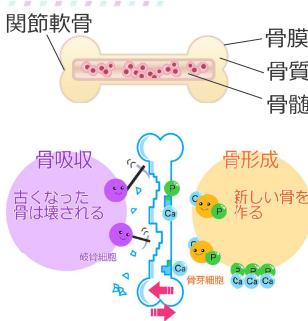


骨格系：骨+関節

- 構造：骨膜、骨質、骨髓、関節軟骨
- 骨は生きた組織であり、成長停止後も一生骨吸収と骨形成を繰り返している
- 機能：身体の支持、臓器保護、運動機能、造血機能、貯蔵（カルシウム、リン等）
- 造血機能：骨髄で産生される造血幹細胞から赤血球、白血球、血小板が分化
- 組成
炭酸Caやリン酸Caなどの無機質：硬さ
タンパク質や多糖体などの有機質：強靭さ



39

筋組織：筋細胞 + 結合組織

	場所	随意・不随意	横紋 (横縞模様)	収縮力	持久力
骨格筋	主に手足	随意	あり	強	ない
平滑筋	心臓以外の内臓	不随意	なし	弱	ある
心筋	心臓	不随意	あり	強	ある

- 随意：自分の意志で動く
 - 不随意：自分で動かせない
 - 平滑筋は「滑らか = 模様無し」と覚える
 - 腱：結合組織のみでできている
- ※結合組織：器官や組織を埋める組織

結合組織の例
腱：骨と筋肉をつなぐ。
伸縮性はあまりない。
靭帯：骨と骨をつなぐ。

外皮系

41

- 皮膚は表皮、真皮、皮下組織の3層構造である。
- 表皮：角質層と生きた表皮細胞の層でできている。
- 角質層：ケラチン（線維性タンパク質）でできた板状の角質細胞と、セラミド（リン脂質の一種）を主成分とする細胞間脂質で構成されており、皮膚のバリア機能を担う。
- たとこ、うおのめ：皮膚に物理的な刺激が繰り返され角質層が肥厚してできる。
- メラニン色素：表皮や真皮に沈着し皮膚の色を作る。メラニン産生細胞（メラノサイト）で産生され、紫外線から皮膚組織を防護する。しみ・そばかすはメラノサイトの活性化によって起こる。
- 真皮：線維芽細胞とその細胞で産生された線維性のタンパク質（コラーゲン、フィブリリン、エラスチン等）からなる結合組織の層。皮膚の弾力と強さを与えていて。毛細血管や知覚神経がある。
- 皮下組織：脂肪細胞が集まり皮下脂肪層となっている。

